

■美術表現科

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2022年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【デッサン基礎Ⅰ 2単位】 共通Ⅰ-1人体デッサンⅠ 【4階教室】	実習	永井俊一 木村繁之

授業の到達目標 (目標とする検定)	デッサン道具の使い方とデッサンの基本的な知識・手順を学ぶ。 人体の各部を様々な角度から観察し形態や構造を探り描写・表現する。
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:4/11~4/14 午前 計4コマ</p> <p>共通授業の前半は「人体」をテーマとした課題を制作します。 今年度初めの課題では、最も身近なモチーフである「自分の顔や体の部分」を良く観察して描きます。</p> <p>人体各部の比例や構造について知ることは人体描写や塑像の場合の目安になります</p> <p>①クロッキー 時間をかけて形態を追求するデッサンに対して対象の印象や特徴を端的につかみ取るのがクロッキーです。まずは自身の頭部や手、足などを様々な角度からクロッキー帳にスケッチして構造を理解します</p> <p>②デッサン それらを1枚の用紙(木炭紙または木炭紙大TMKポスター紙)に、対象の形態、構造、明暗の分布などを考えながら時間をかけて描きます</p> <p>画面の中にモチーフ(人体各部)の配置や構図を考える事にも注意します (各部それぞれの大きさ・比率は自由)</p>
-------	--

週	授業計画 及び 学習の内容	
1	4/11 前提講義	4/14 講評会

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

<p>授業持ち物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デッサン用具一式 ・木炭紙5枚以上(下敷き分も含む) <p>※日本画コースは鉛筆デッサンでも可、その場合はTMKポスター紙を木炭紙大に切って使用 ※木炭紙、TMKポスター紙は事務室で購入できます</p>	<p>学校で準備する教材など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鏡 ・画板 (鉛筆デッサン用・木炭紙大程度) ・人体骨格見本・解剖図
--	---

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2022年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【デッサン基礎Ⅰ 2単位】 共通Ⅰ-2石膏デッサン 【4階教室】	実習	永井俊一 工藤里沙

授業の到達目標 (目標とする検定)	デッサンの基本的な知識と手順を学ぶ。 「構図・形・光と影」を意識して、立体的なものの見方と表現方法を学ぶ。
----------------------	--

授業の内容	<p>期間:4/18-4/28 AM 計8コマ</p> <p>デッサンは合理的な手順をふめば三次元にある事物を二次元(平面)に置き換えることができます。この授業では、石膏像をモチーフとしたデッサンを2枚制作します。</p> <p>ギリシャ、ローマ時代の彫刻を模した石膏像をモチーフに使うのは、西洋画のアカデミックなデッサン教育の柱になっています。 この時代の彫刻は理想的なプロモーションやバランスの取れた量感を表現の核としているため、描くこと自体で美しいものに触れることとなります。また、白無地であることでデッサンの基本となる「形」や「明暗」を描くトレーニングとなります。</p>
-------	--

週	授業計画 及び 学習の内容		
2	4/18前提講義 ~1枚目の制作	4/21	1枚目の講評
3	4/25~ 2枚目の制作	4/28	2枚目の講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

<p>授業持ち物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デッサン用具一式 ・木炭紙5枚以上(下敷き分も含む) <p>※日本画コースは鉛筆デッサンでも可、その場合はTMKポスター紙を木炭紙大に切って使用 ※TMKポスター紙は事務室で購入できます</p>	<p>学校で準備する教材など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石膏像 (ラポルト・アマゾン)
--	---

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2022年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【デッサン基礎Ⅰ 2単位】 共通Ⅰ-3人体デッサンⅡ(ヌード) 【4階教室】	実習	永井俊一 浅野純人

授業の到達目標 (目標とする検定)	「人体(全身)」の基本的なプロポーションを理解し、構造的に表現する。
----------------------	------------------------------------

授業の内容	<p>期間:5/9~5/12 AM 4コマ</p> <p>人体の全身をバランスよく1枚の紙に描くのは難しいものです。なるべく大きく、且つ画面からはみ出さないようにするには、モデルをよく観察して全身のプロポーションを確認する事が大切です。観察と描写を繰り返すことで、機能的な美しさを発見する事でしょう。肌の質感、光と影にも注意して存在感のあるデッサンを制作します。</p> <p>授業の中ではクロッキーも行います。クロッキーは5分や10分など短い時間で対象物を描くことで、全体の構造や動きをとらえる訓練になります。大きなサイズのクロッキー帳を用意しましょう。</p> <p>【モデル授業の注意事項(学校より)】 ポーズの始まりと終わりには挨拶をしましょう。原則としてモデルさんには話しかけないこと。写真撮影は禁止です。携帯・スマートフォンはカバンの中に入れておきましょう。室温はモデルさんを基準に設定します。</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
4	5/9前提講義~クロッキー~デッサン制作 5/12 講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

<p>授業持ち物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B3程度または木炭紙サイズの大きめなクロッキー帳 ・デッサン用具一式 ・木炭紙5枚以上(下敷き分も含む) <p>※日本画コースは鉛筆デッサンでも可、その場合はTMKポスター紙を木炭紙大に切って使用 ※TMKポスター紙は事務室で購入できます</p>	<p>学校で準備する教材など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル モデル台 ・画板 (鉛筆デッサン用・木炭紙大程度) ・人体骨格見本・解剖図 ・木炭紙大のクロッキー帳 (デモンストレーション用)
---	---

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2022年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【デッサン基礎Ⅱ 4単位】 共通Ⅰ-5 静物Iデッサン 【4階教室】	実習	永井俊一 木村繁之

授業の到達目標 (目標とする検定)	「構図」の基本的な考え方を学ぶ。 モチーフをよく観察し、それぞれの「形態」「質感」「構造」の多様性を描き分ける 画面の中において床やテーブルの在り方、背景としての壁や空間の処理を考える
----------------------	--

授業の内容	<p>期間:5/23~6/2 AM 8コマ</p> <p>共通授業の後半は「画面構成」がテーマです。</p> <p>1週目の課題:スケッチ 中央に置かれた数点のモチーフを様々な角度からスケッチし、木炭紙大の1枚の画用紙に描きます。 対象物を様々な角度から描き出し形態や構造を探ること。 画面内の配置や構図も考える(モチーフそれぞれの大きさと数は自由)</p> <p>2週目の課題:デッサン 中央の台に組まれた静物モチーフを木炭紙大の画用紙に構図を考えて時間をかけてデッサンし鉛筆画として完成させます。(画用紙の縦横自由) 対象物の細部を含めた形態や物と物の前後関係、台や床との接地点、光の明暗変化をじっくりと丁寧に描き込むことが目的です。</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
6	5/23前提講義 5/23~26 スケッチ
7	5/30~6/2 デッサン 6/2 講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

<p>授業持ち物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆デッサン用具一式 ・TMKポスター紙を木炭紙大パネルに水張りする ・水張りテープ(他の授業でも使用します) <p>※TMKポスター紙は事務室で購入できます ※水張りは授業内で指導します</p>	<p>学校で準備する教材など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフ ・木炭紙大パネル(人数分) <p>※パネルはこの後の共通授業でも使用します ・水張り用の刷毛</p>
--	--

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2022年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【デッサン基礎Ⅱ 4単位】 共通Ⅰ-6 静物Ⅱ着彩 【4階教室】	実習	塚本聡 清水健太郎

授業の到達目標 (目標とする検定)	「色」を色々使ってみる 透明水彩や不透明絵の具の使い方を体験して画材の特性を知る。 色による「質感・空間」の表現方法を学ぶ。
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:6/6~6/16 AM 8コマ</p> <p>用意されたモチーフを、色を使って表現します。水彩絵の具をはじめとして色鉛筆やクレヨンなど色彩を表現する画材を使ってモチーフを描くことで画材の特性を体感します。 各コース専門授業で課題作品を制作する際は、画材の指定が制限される事もありますが、スケッチやエスキースの段階では自分が使いやすいイメージを形にしやすい気楽な描画材を色々試してみましょう。</p> <p>【前半:様々な画材を使用してモチーフをスケッチし、後半作品の構想を練る】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「絵画・日本画・彫刻」のデッサンや着彩の違い ・「透明水彩・色鉛筆・カラーペン」と「不透明水彩・クレヨン」の手順 ・ドウ・クレヨン(中明度の色紙を使い、明色と暗色のクレヨンまたは色鉛筆など使用) <p>【後半:静物着彩の制作】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩による「質感の表現・空間の表現」
-------	--

週	授業計画 及び 学習の内容
8	6/6前提講義 単色スケッチ 色を使ったスケッチ
9	本画制作~着彩 6/16 講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

<p>授業持ち物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆デッサン用具一式 ・色の画材 (色鉛筆 クレヨン カラーペン 水彩絵具 水彩筆など 持っているもので良いです) ・画用紙を木炭紙大パネルに水張りする ・水張りテープ(他の授業でも使用します) <p>※画用紙は事務室で購入できます ※水張りは授業内で指導します</p>	<p>学校で準備する教材など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モチーフ ・木炭紙大パネル(人数分) ・透明水彩・不透明絵の具(デモンストレーション用) ・水張り用の刷毛
--	--

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2022年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【デッサン基礎Ⅱ 4単位】 共通Ⅰ-8構成作品 【4階教室】	実習	永井俊一 木村繁之

授業の到達目標 (目標とする検定)	4月から先週末までの共通授業(人体デッサン・石膏デッサン・塑像・静物デッサン・色彩構成)の成果経験を活かし、発想力とデザイン、色彩構成と構図を考えた画面を構成し完成度のある作品を作る
----------------------	---

授業の内容	<p>期間::7/4~7/14 AM 8コマ</p> <p>共通授業の最終課題は2週間の自由制作とします。 一年の学期最後に修了制作が組まれていますが、この課題では共通授業の修了制作と捉えてください。 いままでに制作した作品やスケッチブック、アーティストブックなどを参考にして自身の作家紹介という意味合いで画面構成を考えても良いです。 立体的なものの見方、人体の捉え方、画面構成、発想、明暗、色彩の表現など講評会や制作中の指導を思い出しながら制作しましょう</p> <p>※10月の学園祭で展示する候補作品とします 授業時間の中で、作品に題名をつける事に関する実践講座を行う予定です(日時は別途お知らせします)</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
12	7/4前提講義 エスキース制作 中間チェック
13	本制作 7/14 講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

<p>授業持ち物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画材は自由 これまでの授業で自身に合った画材を選ぶ (色鉛筆 水彩絵具 水彩筆など 持っているもので良いです) コラーージュも可 ・画用紙を木炭紙大パネルに水張りする ※画用紙は事務室で購入できます ・水張りテープ(他の授業でも使用します) 	<p>学校で準備する教材など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木炭紙大パネル(人数分) ・水張り用の刷毛
--	--

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2022年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【表現演習基礎 4単位】 共通 I-4 塑像 【4階教室】	実習	工藤里紗

授業の到達目標 (目標とする検定)	対象物の「構造・質感・量感」など、立体としての物の捉え方を学ぶ。
----------------------	----------------------------------

授業の内容	<p>期間:5/16~5/19 AM 4コマ</p> <p>石膏像をモチーフにし、人物の頭部を構造体として捉えて粘土で首像を制作する。 顔の正面だけではなく奥行や側面、頭と首とのつながりなどを意識する事。</p>
-------	--

週	授業計画 及び 学習の内容
5	5/16前提講義 5/19講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

<p>授業持ち物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業着 ・不要な布(さらしのような生地が好ましいが、不要なTシャツやタオルなどでも可) ※粘土が乾かないよう途中の作品に巻いておくため ・クロッキー帳、描画道具 ・粘土べら(持っている方は持参してください) 	<p>学校で準備する教材など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石膏像 ・心棒の道具 ・粘土 ・塑像板、 ・ゴミ袋(人数分) ・粘土べら ・麻ひも
---	---

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	共通授業	2022年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【表現演習基礎 4単位】 共通 I-7色彩構成 【4階教室】	実習	永井俊一

授業の到達目標 (目標とする検定)	色彩についての基本的な知識を学ぶ。 それぞれの色が持つ特性を理解し、効果的な色面を構成する方法を学ぶ。
----------------------	--

授業の内容	<p>期間::6/20~6/30 AM 8コマ</p> <p>前半は、色の三属性(色相・明度・彩度)に関する講義と、小さな課題で色彩の知識を身につける。</p> <p>後半は、事前に各自制作した「アートブック」を素材にし、身につけた知識を活かして作品を制作する。 最終日に講評をします。</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
10	色彩に関する講義と課題制作
11	色彩に関する講義と課題制作 6/30講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

<p>授業持ち物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケッチブック・はさみ、カッター・のり、定規 ・筆、パレット、筆洗 ・色の画材(色鉛筆 水彩絵具 水彩筆など 持っているもので良いです) <p>※アクリルガッシュは学校教材としても若干用意いたしますが、 今後使用する方は個人購入をお勧めします</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トータルカラー(事務室で販売しますので、事前に購入してください) ・画用紙を水張りする(パネルサイズは別途お伝えします) ・水張りテープ(他の授業でも使用します) <p>※水張りは授業内で指導します</p>	<p>学校で準備する教材など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木炭紙大パネル(人数分) ・アクリルガッシュ、筆 ・トータルカラー、課題用紙、 ・カッターマット、ホッチキス、 ・PCと画面 ・水張り用の刷毛
--	--

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2022年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【美術表現基礎Ⅰ 4単位】 Ⅰ-1・2基礎導入 【401教室】	実習	清水健太郎 飯美樹

授業の到達目標 (目標とする検定)	油彩画材についての基本的な知識と制作手順を学ぶ。 題材の選び方から構図の重要性を理解する。
----------------------	--

授業の内容	<p>期間:4/11~5/26 PM 計24コマ</p> <p>画材についての基本的な知識を身につけると共に、絵具の持つ表情の豊かさを探ります。 今後油絵を描いていく上での基本的な知識を知り、油絵を描いていく上での手順を学びます。 静物画課題の取り組み方を理解し、構図、下書き、着色、それぞれの手順や留意点を学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵具の構造や特性について ・画材の準備や扱い方について ・支持体について(キャンバスの張り方) ・絵具による混色とマチエールの多様性 <p>以上を講義と実習をとおして学びます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・制作の準備及び基本的な制作手順の解説 ・パレットへの色置き、混色 ・明暗と色彩の関係 ・構図の考え方 ・画布への表現の多様性 ・質感表現 <p>以上を講義と実習をとおして学びます。</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
1	4/11前提講義 エスキース制作 この間にキャンバス張り実施
2	制作
3	制作
	ゴールデンウィーク
4	5/9 1枚目の講評 5/10~12制作
5	制作
6	制作 5/26 2枚目の講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

<p>授業持ち物</p> <p>(初日に必要なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロッキー帳(エスキース用) 鉛筆 ねりゴム ・彩色できる画材 <p>(色でエスキースをするため 色鉛筆 水彩絵具 水彩筆など 持っているもので良いです)</p> <p>(授業が始まってから必要なもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油絵用具一式 <p>(授業の中で必要な画材の説明をします 持っていない方は説明を聞いてから購入してください)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンバス F10号1枚(キャンバス布と木枠を別で用意) F15号1枚 	<p>学校で準備する教材など</p> <p>デモ用の用具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンバス張り器 金づち ペンチ ・木枠・カットキャンバス・キャンバス用釘・無地布+柄布 ・幾何石膏 ・その他、質感と色の異なるモチーフを数点(ガラス器、瓶、ホーローなど)
---	---

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2022年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【美術表現基礎Ⅰ 4単位】 絵画Ⅰ-3自画像 【401教室】	実習	永井俊一

授業の到達目標 (目標とする検定)	自分の顔を客観的に観察し、骨格や筋肉などの構造を理解する。 その上で本人の性格や魅力を自分なりに発見して表現する。
----------------------	--

授業の内容	<p>期間:5/30~6/16 PM 12コマ</p> <p>生涯において何枚もの自画像を描いている作家がいるように、自分の顔はもっとも身近なモチーフです。鏡の中の自分の顔は毎日変わらないように思えますが、その日その時の心情を映し出しているものです。その時期にしか描けない自分と向き合い改めて良く観察して描写しましょう。</p> <p>顔を中心に制作しますが、来ている服や上半身までを表現することも効果的です。</p> <p>鉛筆もしくは木炭のデッサンから始め、基本的な人体構造や立体感を確認していきます。</p> <p>長い歴史の中で描かれてきた数々の名画も参考にしながら、自分なりのスタイルも探っていきます。</p>
-------	--

週	授業計画 及び 学習の内容
7	5/30前提講義 ~31 デッサン ~6/2エスキース~制作
8	制作
9	制作 6/16講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

授業持ち物 ・鉛筆もしくは木炭(デッサン用) ・TMKポスター紙(B3)もしくは木炭紙半裁(デッサン用) ・10号キャンバス ・油彩道具	学校で準備する教材など ・鏡 ・背景のきっかけとして大きめの布
--	---------------------------------------

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2022年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【美術表現基礎Ⅱ 6単位】 絵画Ⅰ-4人体着彩(ヌード) 【401教室】	実習	中嶋明 永井俊一

授業の到達目標 (目標とする検定)	モデルをよく観察して人体の機能的なバランスの美しさを発見する。 肌の質感、光と影、画面全体の空間意識などに注意して作品を完成させる。
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:6/20~7/14 PM 16コマ</p> <p>油彩の画材の段階的プロセスを実習を通じて習得します。 絵の具の特質を理解し、形体と色彩を統合した空間表現を学びます。 静物画実習の油彩画、デッサンにおける人体の認識を踏まえ、人体を表現します。 肌色とその明暗表現を、過去の巨匠たちの作例も参照し研究するとともに、人体を構造として理解し、プロポーション、コンポジション、ムーブマン等にも留意して制作します。</p> <p>※10月の学園祭で展示する候補作品とします</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
10	6/20前提講義 ~21 デッサン ~23エスキース~制作
11	制作
12	制作
13	7/14 講評 夏休み前大掃除

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

<p>授業持ち物</p> <p>クロッキー帳、デッサン用具一式、 油彩道具一式 キャンバス(F15)</p>	<p>学校で準備する教材など</p> <p>・モデル ・モデル台 ・背景のきっかけとなるモチーフ</p>
--	--

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2022年度	後期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【美術表現基礎Ⅱ 6単位】 絵画Ⅰ-7人体着彩(着衣) 【401教室】	実習	佐藤功 永井俊一

授業の到達目標 (目標とする検定)	<p>人体の内部構造を理解した上で、その表面にまとった服地の構造や素材感をよく観察して総合的に描写する。特に服地については見かけの柄やしわのみに捉われず中身の人体構造を優先する事の大切さを学ぶ。クロッキー、エスキース、本制作と進める中で、改善すべき点は遠慮なく修正をする勇気を持つ事を学ぶ。</p>
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:11/7~11/22 AM/PM 計20コマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人体デッサン(着衣)から構図を考えて、画面構成するにあたりエスキースが欠かせない。エスキースに時間をかけて作品の構想を練る視点を大切にほしい。 ・油彩画の良い点は思い切った変更が可能ということ。制作を進めながら必要に応じて引き返す勇気を持ってほしい。 <p>人体と衣服の関係性をしっかり把握することが大切です。また、そのデッサンに基づく油彩画では、最初の人体デッサン課題で学んだポイントを下地にして、次のステップに取り組んでください。</p> <p>※制作の一連の流れを通して修了制作へ向かうステップにします。</p>
-------	--

週	授業計画 及び 学習の内容
20	11/7前提講義 ~11/10制作
21	制作
22	制作 11/22講評 11/23・24休日

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
クロッキー帳、デッサン用具一式、油彩道具一式 キャンバス(F20)	・モデル(着衣指示) ・背景や小物

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2022年度	後期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【美術表現基礎Ⅲ 4単位】 絵画 I -6 静物着彩 植物・動物(剥製) 【401教室】	実習	永井俊一 滝田一雄

授業の到達目標 (目標とする検定)	動物(鳥などを含む)の骨格や構造を理解し、画面を空間的に構成する。 人体を描く場合と、動物を描く場合の画面全体の組み立て方の違いを学ぶ。
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:10/3~10/20 AM/PM 計20コマ</p> <p>動物剥製は静物のモチーフとしてとても魅力あるものです。制作にあたっては下記の工程で行います</p> <p>①スケッチ・デッサン この課題では、まずメインとなる動物を良く観察してスケッチやデッサンを行い、体の構造や質感を理解します。</p> <p>②エスキース その後に静物モチーフのなかからどこを見せ場にするかを検討するエスキースを複数制作します。</p> <p>③本制作 検討修正されたエスキースを基に、動物の自然なプロポーションや質感が表現できるか、物と物との関わり合いが観察・表現できているかを自身に問いながら1枚のタブローに仕上げます。</p> <p>※10月の学園祭で展示する候補作品とします</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
17	10/3前提講義 ~10/5スケッチ、デッサン、エスキース 10/6制作
18	10/10休日 10/11~13制作
19	制作 10/20講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
クロッキー帳、デッサン用具一式、 油彩道具一式 キャンバス(F20)	・モチーフ(剥製含む)

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2022年度	後期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【美術表現基礎Ⅲ 4単位】 絵画 I-8 静物着彩(大型静物) 【401教室】	実習	塚本 駿 中嶋 明 永井 俊一

授業の到達目標 (目標とする検定)	大型モチーフの部分を切り取って画面に収めるプロセスを通して、全体構成力を高め、空間の意識を深める姿勢を修得する。
----------------------	--

授業の内容	<p>期間:11/28~12/15 AM/PM 計24コマ</p> <p>ほぼ全てのモチーフを描くこれまでの静物画とは異なり、与えられた大型モチーフの部分を切り取って描きま す。主役となるモチーフ部分を決め、自分の考えをより良く表現できる構図を熟考して下さい。例外としては、 色、光や影、空間などを主役的に扱うことも可能です。 また今回の課題では、複数のモチーフの関係やそれを取り巻く空間を意識して制作することが重要です。</p> <p>※前の課題と、本課題を制作する過程で修了制作への構想や表現の足掛かりとします。</p>
-------	--

週	授業計画 及び 学習の内容
23	11/28前提講義 ~12/1制作
24	制作
25	制作 12/15講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
<ul style="list-style-type: none"> ・クロッキー帳(エスキース用) ・20~25号キャンバス ・油彩道具 	<ul style="list-style-type: none"> ・モチーフ

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2022年度	前期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【美術表現演習 2単位】 絵画 I-5技法演習 【401教室】	実習	関水英司 姚小金 常世隆 大家泰仁

授業の到達目標 (目標とする検定)	筆と絵具に留まらず、様々な表現技法を体験して今後の制作の幅を広げる。
----------------------	------------------------------------

授業の内容	<p>期間:9/12~9/15AM 9/20~29AM/PM 計18コマ</p> <p>4月~7月に油絵の道具や画材の使い方に触れながらひとつひとつの課題の作品を制作してきました。この課題では、少し目先を変えて複数の講師による表現技法のワークショップを行います。本来「絵の描き方」に、こうでなければならないというルールはありません。今回体験する技法も、様々な技法の中の一部でしかありませんが、色々な先生と絵画表現について向き合う事で描きたい絵の方向を見つけるきっかけになる事を期待します。</p>
-------	--

週	授業計画 及び 学習の内容
14	9/12前提講義 ~9/15 技法ワークショップ1
15	9/20 技法ワークショップ2 9/21・22 技法ワークショップ3
16	9/26・27 技法ワークショップ4 9/28・29 技法ワークショップ5

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

<p>授業持ち物</p> <p>クロッキー帳、デッサン用具一式、油彩道具一式</p> <p>※キャンパスのサイズ 支持体については別途お知らせします</p>	<p>学校で準備する教材など</p> <p>・モチーフ ・デモンストレーション用画材</p>
--	--

配付資料

渋谷ファッション&アート専門学校

開講課程	開講学科	コース	開講年度	学期
文化専門課程	美術表現科	絵画コース	2022年度	後期

講義区分	授業科目名	授業の方法	担当教員
必修	【美術表現基礎終了制作 6単位】 絵画 I-9修了制作 【401教室】	実習	永井俊一 大家泰仁 浅野純人

授業の到達目標 (目標とする検定)	1年間の学びの集大成として、外部に発表し鑑賞されることを目的とした作品を制作する。
----------------------	---

授業の内容	<p>期間:12/19~2/16 AM/PM 計54コマ</p> <p>修了制作について 本校は1年制の学校であるため、1年毎に修了となります。そのため1年間の学習の成果を問う形で、毎年修了作品を制作します。 現時点での各人の制作スキルを活かし、制作テーマを考え、集中的に作品を制作する機会が修了制作です。各人の制作の構想、エスキースを元に先生方と相談しながら進行していきます。</p> <p>以下より選択してください。 テーマ ・静物 ・風景(室内も含む) ・人物</p>
-------	---

週	授業計画 及び 学習の内容
26	12/19前提講義・導入 ~エスキース
	冬期休業
27	1/10計画書提出 制作
28	制作
29	制作 中間講評(日程は別途お知らせします)
30	制作
31	制作
32	制作 修了制作展で講評

成績評価の方法
・課題の提出 ・制作作品 ・講評会の出席状況

教員の実務経験(企業や団体での実務経験)
別紙参照

授業持ち物	学校で準備する教材など
クロッキー帳(エスキース用)、デッサン用具一式 油彩道具一式 キャンバス(30号)	・修了制作計画表用紙 (作品名・展示計画含む)

配付資料
